



9月29日(土)に立山町総合防災訓練が開催されました。立山砂防事務所からは、土砂災害に関するパネル展示、土砂災害の模型展示、被災状況確認訓練(ドローン使用)、VR(バーチャルリアリティ)ゴーグルによる土砂災害の疑似体験を出展しました。

あいにくの小雨模様のなか、多くの方に土砂災害と砂防事業についてパネルでの説明や展示模型の実演で学んでいただいたほか、ドローンによる空中撮影の様子やVRゴーグルの体験を通して、防災に対する意識を高めていただきました。

開催日時：平成30年9月29日(土) 8:30～11:30

会場：第1会場 立山町役場(災害対策本部・初動訓練)  
第2会場 中央体育センター及び武道館  
(住民避難訓練・避難所運営訓練・応急救護訓練・炊き出し訓練・電力供給訓練・給水訓練・通信確保訓練・災害ボランティア現地対策本部設置訓練・災害協定事業者による展示等)

参加者：関係機関25団体、2地区住民(合計:約150名)

訓練目的：防災関係機関並びに地域住民の参加のもと、町をはじめとする防災関係機関相互による迅速かつ的確な災害応急対策活動の実施および住民の防災意識の高揚を図ること。また、近隣の地区同士において合同で訓練を行うことにより、広く防災意識の啓発を図る。

訓練想定：・大雨洪水警報発令中、常願寺川、栃津川において、はん濫の危険性  
・栃津川：はん濫注意水位 避難判断水位  
・常願寺川：はん濫注意情報 はん濫警戒情報  
・非常事態に対処するため、町は防災関係機関及び地区自主防災組織等の協力を得て全面的な災害応急活動を開始



ドローンを使用した被災地調査訓練



解説員による土砂災害模型の説明



ドローン疑似操縦体験



VRゴーグル体験



模型・パネル展示



給水訓練

(立山町水道課)



災害ボランティア現地対策本部設置訓練

(立山町社会福祉協議会)



炊き出し訓練

(立山町赤十字奉仕団等)